

外国語活動

1 学校や地域の実態に応じた指導計画の充実

- 小・中の連携や小学校同士の連携により、中学校外国語科への円滑な接続を図り、単元の位置付けや単元と単元との関連を踏まえた指導計画を作成する。
- ◎ **実施上の課題等の把握や指導計画作成は、全職員の共通理解のもと学校全体で取り組むとともに校内研修を充実させる。**

2 外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成

- 児童の興味・関心に応じて、他教科等で学習した内容を取り入れるなど、知的好奇心を喚起する教材を活用し、言語や文化について体験的に理解できるようにする。
- デジタル教材や音楽を活用して、内容や活動を工夫し、児童が自ら進んで聞いたり話したりして音声や表現に慣れ親しむようにする。
- ネイティブ・スピーカーや外国生活の経験者等の協力を得て、HRTや児童とのインタラクションを通して、言葉のもつ面白さや豊かさに気付かせ、異文化への興味・関心を高める。

3 「目標－指導(活動)－評価」の一体化

- 単元や授業のねらいに沿って、授業の中で求める児童の具体的な姿を明らかにして、評価規準とともに児童の学習状況を適切にとらえる評価の場面、方法を設定する。
- ◎ **自己評価や相互評価を活用し、児童の努力や意欲の向上等の変容を的確に見取る評価を行い、評価の結果に基づき適切な支援を行うなど指導の改善に生かす。**

※は参考文献等

外国語活動の授業の充実のために

授業づくりのポイント1 (「【参考資料】確かな学力の向上のために」P3)

単元のねらいと子どもの実態等を踏まえた単元構想の工夫

- ◎ **実施上の課題等の把握や指導計画作成は、全職員の共通理解のもと学校全体で取り組むとともに校内研修を充実させる。**

- ・ 各種研修会やDVD教材を参考にして、単元のねらいに合ったALTとの協力の在り方やICTの活用の仕方を見直し、指導計画に位置付ける。

※ 平成27年度「英語教育推進リーダー中央研修」DVD教材(平成28年7月 文部科学省)

- ・ 活動を重ねるごとに子どものコミュニケーションへの意欲が高まっていく姿を想定し、チャンツ、ゲームなどの各活動が単元のねらいにつながるように指導計画に位置付ける。
- ・ 教師自身の英語力向上に努め、教室英語の使用を段階的・計画的に増やし、子どもが英語に触れる機会を確保していく。

【「ほめる」「はげます」教室英語の例】

You did a good job. (よく頑張りました。)

Fantastic. (すばらしい。) Close. (おいしい。)

That's right. (その通りです。)

Clear voice. (はっきりした声です。) Good luck. (頑張つて。)

You can say it in Japanese. (日本語で言っていていいですよ。)

Excellent!



※ Hi, friends! 指導書(文部科学省)

授業づくりのポイント6 (「【参考資料】確かな学力の向上のために」P15)

学習内容を「振り返る活動」の充実

- ◎ **自己評価や相互評価を活用し、児童の努力や意欲の向上等の変容を的確に見取る評価を行い、評価の結果に基づき適切な支援を行うなど指導の改善に生かす。**

- ・ モデルを示したり、教室に掲示したりして、子どもが活動の目標を十分に理解して活動に取り組み、目標が達成できたかどうかを実感できるようにする。
- ・ 特に言語活動への参加意欲について、その変容を子ども同士で認め合う場を設定するとともに、教師が的確に見取り、称賛の声かけをする。
- ・ 「もっとやってみたいこと」「もっと知りたいこと」を引き出し、次の単元や中学校外国語科の学習への意欲を喚起する。